

西浦支援学校 中学部における 自立活動

～実態把握から日々の指導・授業実践～



今日の予定

- 1、自己紹介
- 2、中学部における自立活動の取り組み
- 3、教育実践マトリクスについて
- 4、実践例
- 5、まとめ

自己紹介

大阪府立西浦支援学校 中学部
樋井一宏（ひのい かずひろ）

教員歴：12年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：アウトドア

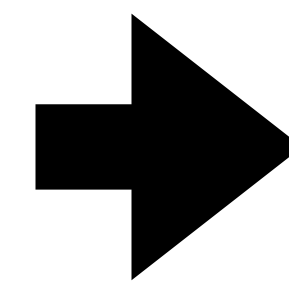
特別支援教育が特別じゃなくなる日を



自立活動って？

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。（文部科学省 特別支援学校中学部 学習指導要領 p199）

苦手なことを
どうすれば（手段や練習）
できれば、自分で



なりふり構わず
幸せになる

幸せに暮らせるか

中学校 支援学級・通級指導教室では？

2 特別な配慮を必要とする生徒への指導

(1) 障害のある生徒などへの指導

ア 障害のある生徒などについては，特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ，個々の生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を 組織的かつ計画的に行うものとする。

イ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については，次のとおり編成するものとする。

（ア） 障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため，特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。

（中略）

（ウ） 障害のある生徒に対して，通級による指導を行い，特別の教育課程を編成する場合には，特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動の内容を参考とし，具体的な目標や内容を定め，指導を行うものとする。その際，効果的な指導が行われるよう，各教科等と通級による指導との関連を図るなど，教師間の連携に努めるものとする。

自立活動っていつやるの？

日々の生活・時間における指導・各教科

全ての教育活動の中で取り組まれる内容

でも、今回は

本校中学部の自立活動

日々の生活の中で行う指導

- ・ クラス、学年、個人で実施
- ・ 各自の目標から
取り組むべき課題を決定

例) 更衣、ランニング、歯磨き
ST、朝の会など

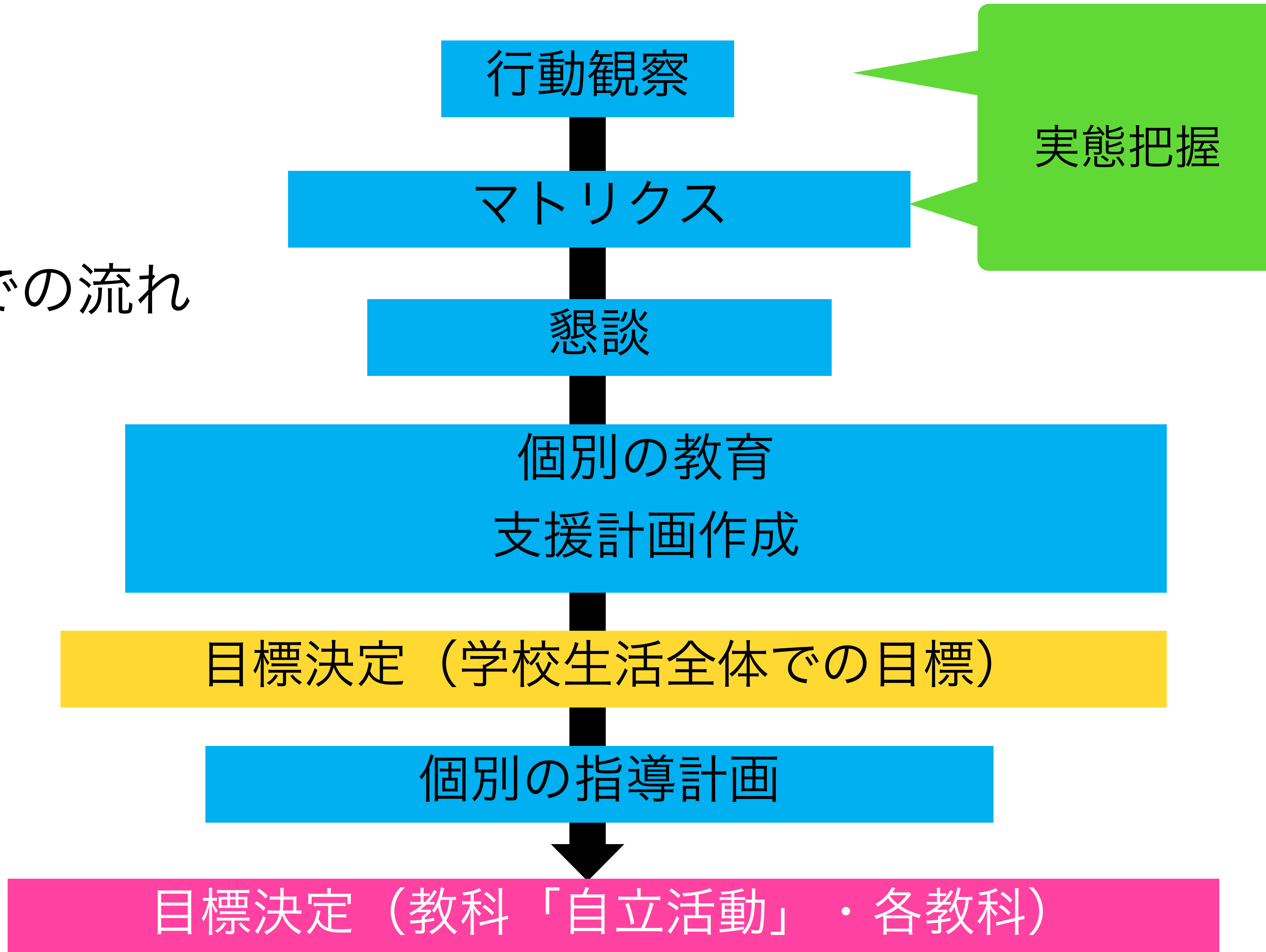
時間における指導 (週1コマ 50分)

- ・ 課題別学習グループを編成
(4グループ展開)
- ・ 各自の目標を集め年間を通じて
達成できるように単元計画を行う

例) ストレッチ、FBM、ゲーム、
SST、ビジョントレーニングなど

自立活動

目標決定までの流れ



実態把握

最も重要

子どもたちの様子をよく観察する

何を？

得意なことは？＊仮説

苦手なことは？＊仮説

どんな支援が必要？＊仮説

何をどう考えるか。

1、何に困っているか

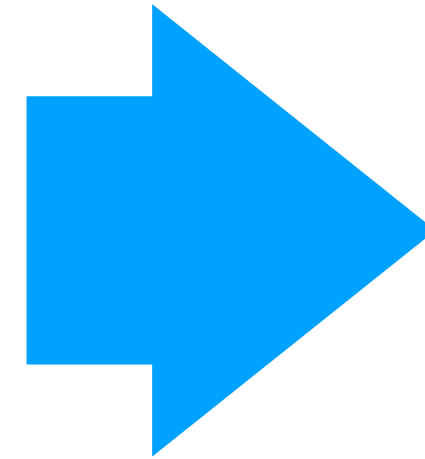
いつ？どんな時？

2、なぜか？

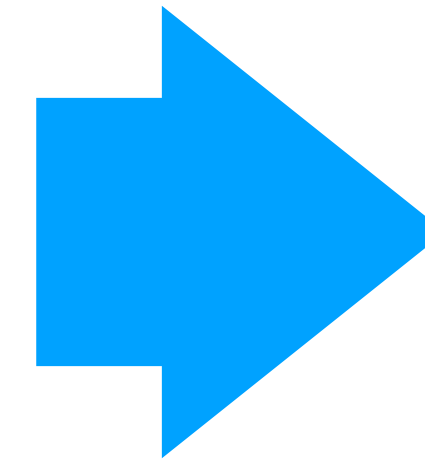
その子は
それをするとなん
いいことが？

3、どうすれば良いか？

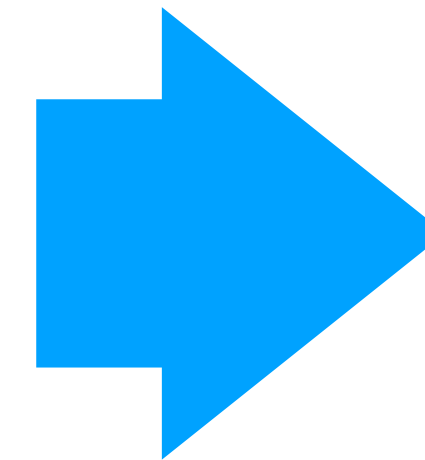
4、やってみよう！！



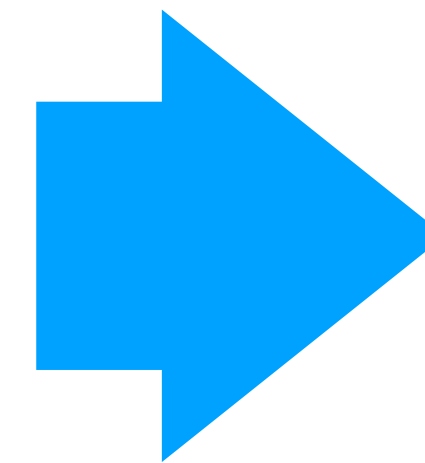
どうなって欲しいか



原因は
何が隠れてる？



支援の方法



実践

教育実践マトリクスについて

本校独自の

「実態把握」

「課題設定ツール」

「学びの記録」

小中高12年間で

身につけてほしい力の

「地图」

16の力（横軸）×12段階（縦軸）

[illegible]

に気をつける できる 体力づくりの 動（ランニン することがで	跳ひ組、鉄棒、なわと び等）に合わせた活動 をすることができる □様々な模倣（体操、 ダンス等）をすること ができる	できる □あきらめずに最後まで がんばることができる	する □経験したものと事柄 を自分なりの表現で描 く	ルールやマナーを守っ て活動することができ る □特定の教員（担任 等）がいなくてもルー ルを守って活動するこ とができる	使うこと □動植物 やさしい とができ
促して、食事 や食べ方に気 ことができる 足して、体力 ための運動 ング等）をす でける	□簡単なルールのある ゲームができる □言葉かけ等で複数の 動き（走って跳ぶ等） を連続することができる □簡単な動作の模倣が できる	□周囲の応援等で、苦 手なこと頑張っ活動 することができる □苦手なことにも短時 間向き合うことができ る	□音楽に合わせて手を たたいたり、踊ったり することを楽しむ □好きなものを自分な りの表現（みたて等） で描く	□学部や学校などの ルール（廊下を走らな い等）を守ることがで きる □小集団の中で活動す ることができる	□動植 ことを □野菜 みにし
いなく食べる できる 生活リズムを	□言葉かけや合図で基 本的な運動（歩く、走 る等）をすることがで きる □教員の動きを見て、 自分で体を動かす（体 操等）ことができる	□親しい友だち（クラ スメイト等）の中で落 ち着いて活動すること ができる □複数の教員（担任以 外等）と意思疎通がで きる	□自分で音を出した り、音楽（曲）にあわ せて体を揺らしたりし て楽しむ □絵を描くことに興味 をもつ	□学級や学年などの ルール（友だちを待 つ、集団に自分を合わ せる等）を守ることが できる □友だちの中で一緒に 活動することができる	□動 （成 づく □季 化す
のも自分で ができる から食事を	□立った状態で衣服や 靴の着脱等を一人で 行う □階段や坂道の上下 りを一人でやる	□特定の教員（担任 等）と一緒に活動す ることができる □特定の教員（担任 等）と意思疎通がで きる	□好きな植物や動物が ある □好きな音楽や絵等が ある	□日常生活に必要な決 まり（手洗いをする・ 歯みがきをする等）を 守ることができる □時間（始まりの時 間、終わりの時間等） を意識することができる	□い こ □を
して、体 を楽しむ ば水分摂 のも少し とができ	□衣服や靴の着脱等を 少しの支援で行う □階段や坂道の上下 りを少しの支援で行う	□好きな音楽や遊具を 使った活動を、落ち着 いてすることができる □自分が安心できる環 境（場所）で、しっか り活動することができる	□身近な植物や動物へ の興味を深める □絵（絵本）や音楽 （音）の楽しさ、おも しろさを感じる	□特定の教員（担任 等）との簡単な約束 （～ができたなら～をし よう等）を守ることが できる	
し、夜に つける て、あそ	□衣服や靴の着脱等を 教員と一緒にやる □階段や坂道の上下 りを教員と一緒にやる	□好きな音楽やお気 入りの遊具がある □好きな遊びがある □落ち着ける環境 （クールダウンできる 方法）がある	□教員の働きかけで身 近な植物や動物に興味 をもつ □絵（絵本）や音（音 楽）に興味をもつ	□教員と一緒に順番を 守ることができる □見通しがもてれば教 員と一緒に一定時間待 つことができる	□身 物の □教 りの物
のを中心 振ることが		□特定の音楽に反応 （微笑み、振り向きな ど）する □特定のもの（おも ちゃえほん）に積極 的にかかわる	□身近な植物や動物に ふれる □絵（絵本）や音楽 （音）にふれる	□気持ちが安定してい るときには、教員と一 緒に一定時間待つこと ができる □サインで待つが分か り、行動を一時とめる ことができる □着席できる	□身 物の □教 りの物
ることができる しっかり活動 にしっかり眠					
ことへの欲求	□ものを指でつまむこ とができる（つかむ） とができる場所を1人で				

学年ごとに塗る色を変えて、
変化を記録

必ずしも上のマス目標を
狙うものではない

はじめに

POINT!

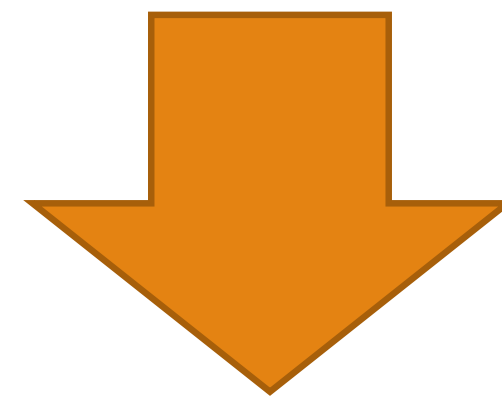
○大阪府立西浦支援学校では開校以来、すべての児童・生徒の

①実態把握

②課題設定

③各教科
授業グループ決定

を『教育実践マトリクス』を基に行ってきた。



西浦支援学校における
全ての教育活動の基本となる指標

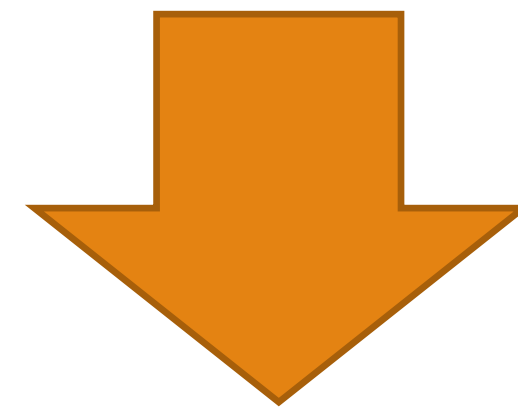
『教育実践マトリクス』作成の経緯

西浦支援学校 開校準備室

《課題》

- ・複雑化、多様化する児童生徒への教育的ニーズ
- ・めざす学校像「未来志向型支援学校」の実現
- ・ベテラン教員の退職、若手教員の増加
- ・専門性の向上及びその継承

POINT!



教育観点の共通指標

話し合うことの重要性

先生方の経験も得意も違う

自分とは違う角度からの意見を知ること

学び合うことで生徒理解を深める。

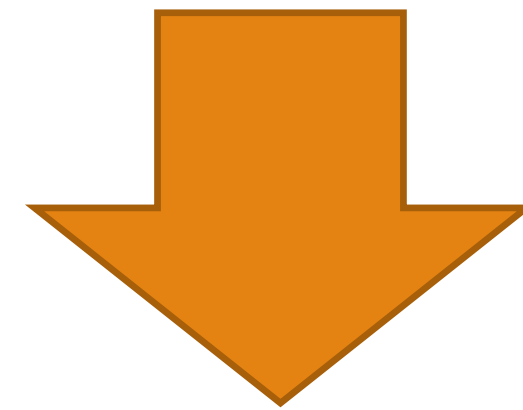
教員自身の学びと成長

『教育実践マトリクス』の背景

○作成にあたって

学習指導要領 キャリアプランニングマトリクス 教員の経験知 各種発達理論など

マズローの欲求5段階



POINT!

児童生徒に小中高12年間で行われる教育活動を網羅できるよう

つけてほしい力の種別を16領域(横軸)、
各領域の具体的な内容を12段階(縦軸)に
分類・整理

教育実践マトリクスとは

- 児童生徒の**実態把握**ツール
- 児童生徒の**課題設定**ツール
- 児童生徒の**学習グループ決定**ツール

話し合いのためのツール

- ・教員同士で⇒実態とねらいの共有
- ・保護者と ⇒ニーズの把握
- ・関係機関と⇒確実な引き継ぎ、情報共有

引き継ぎ事項を確認の上、行動観察
必要に応じて関係者に**聞き取り**

マトリクスを基に担任間で**相談・共通認識**

保護者に**提案・相談・修正**

POINT!

学年会等で**相談**の上、学習グループ等決定

アセスメントバッテリー

- ・行動観察
- ・聞き取り
- ・各種検査結果等
- ・マトリクス

入力方法

- ・ステップ1: 行動観察
- ・ステップ2: プロフィールシート作成
- ・ステップ3: 個人プロフィール確認
- ・ステップ4: 各教科のグループとマトリクス分布を確認
- ・ステップ5: 学習グループを仮決定
- ・ステップ6: 保護者提案
- ・ステップ7: 学習グループ決定

ステップ1 行動観察

- ・西浦支援学校における実態把握の理念は・・・

教育実践マトリクス

日々の行動観察

保護者などからの
聞き取り

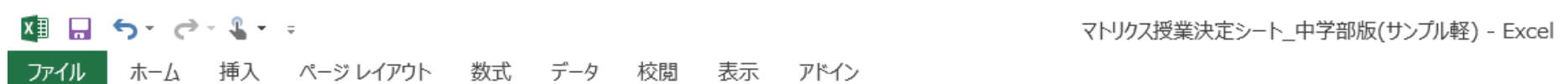
外部機関による
各種検査結果など



特に重要なのは・・・『日々の行動観察』

ステップ2 ②「プロフィールシート」作成

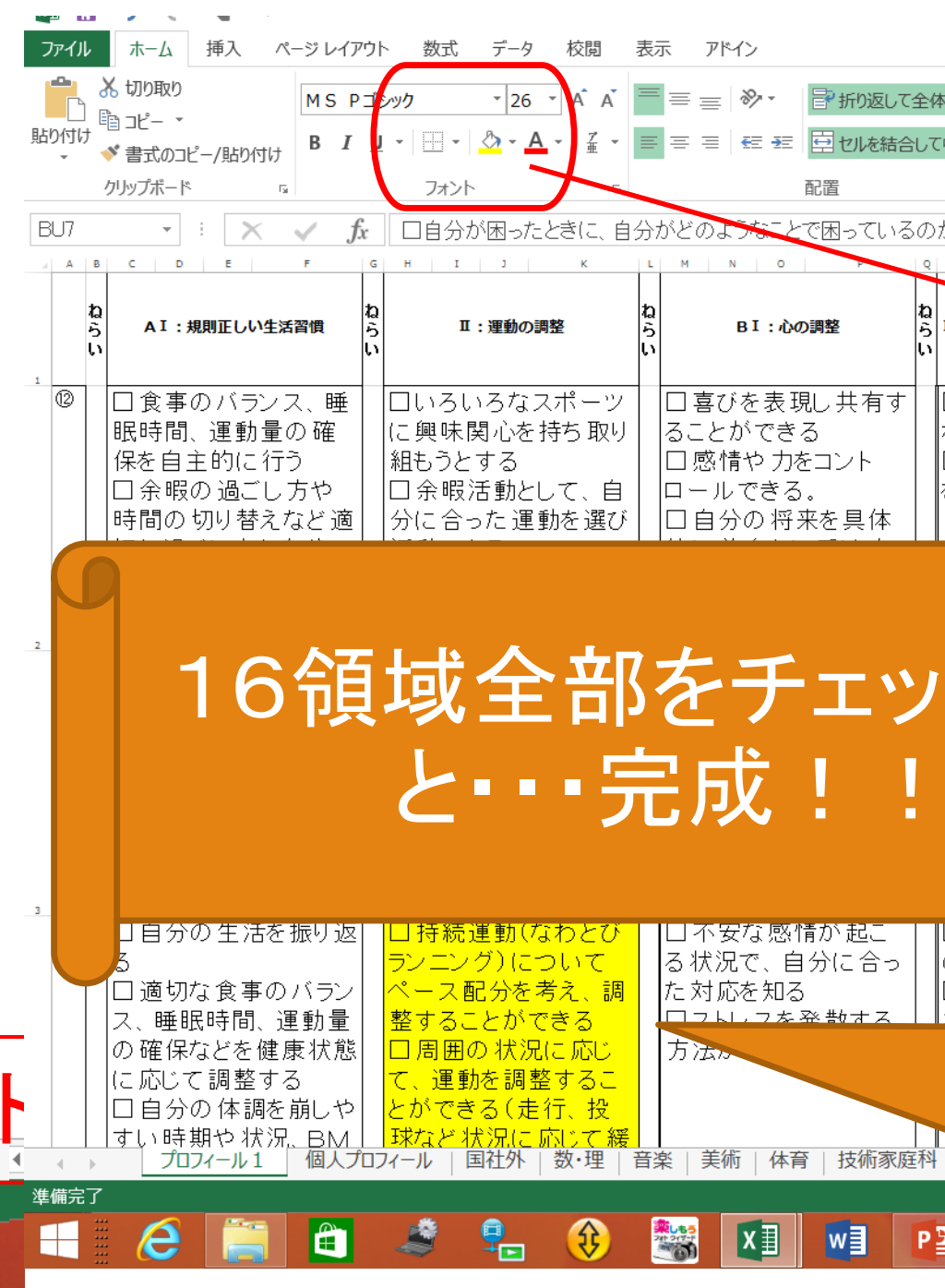
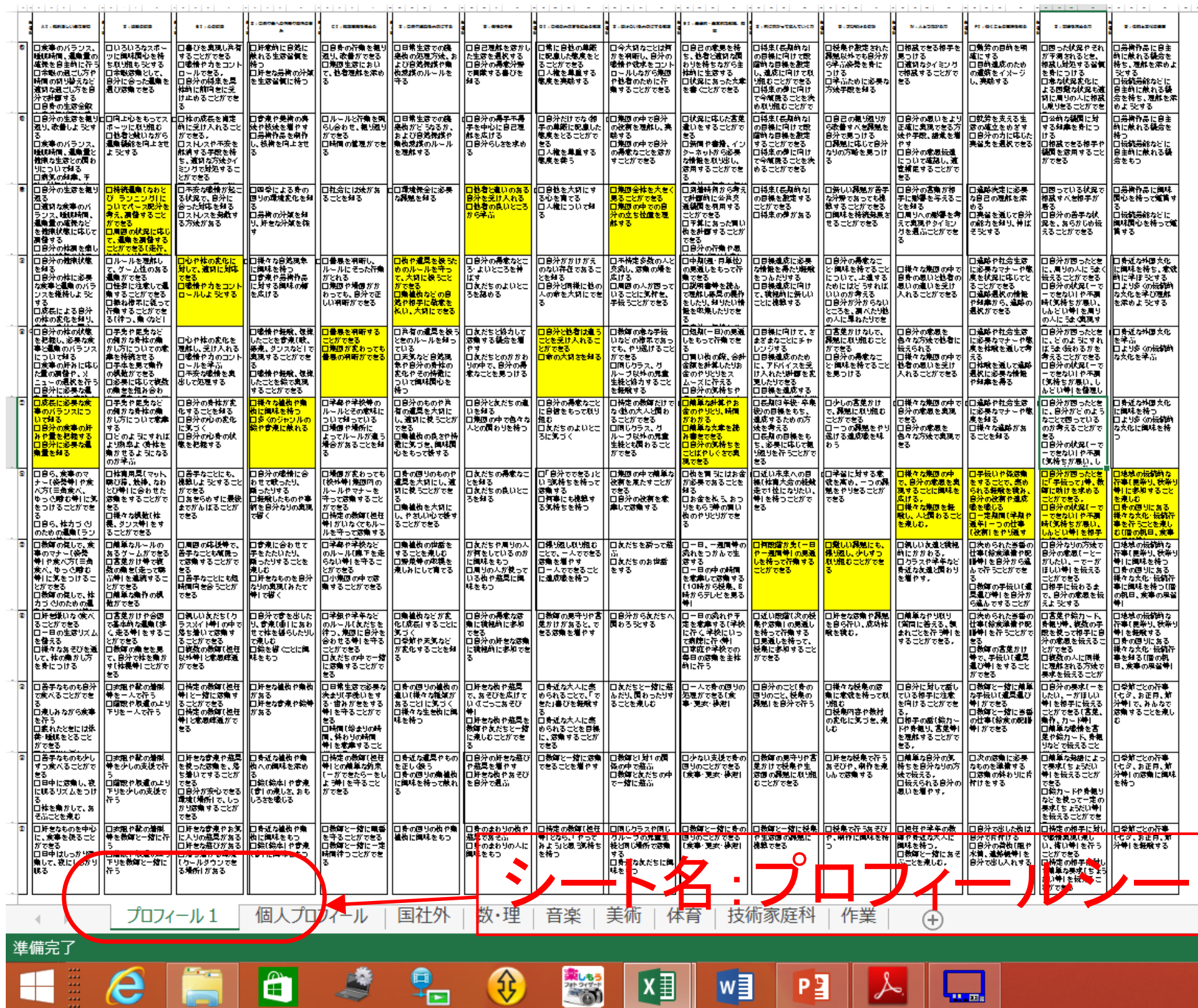
『マトリクス授業決定シート〇〇学部版』(エクセル)を開き、『実態』を記入する。



各領域の**チェック項目**を見て、

『実態』決める。高すぎる→一つ下のセルをチェック

低すぎる→一つ上のセルをチェック



このマークを
クリック

16領域全部をチェックすると・・・完成！！

例：A II の⑩が実態の時

ステップ2 ②「プロフィールシート」作成

次は『ねらい』

各領域 左隣「ねらい」欄に○をつける

マトリクス授業決定シート_中学部版(サンプル軽) - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン

BU7 ☐ 自分が困ったときに、自分がどのようなことで困っているのか考えることができる

領域	ねらい	実態
1	⑫	<input type="checkbox"/> 食事のバランス、睡眠時間、運動量の確保を自主的に行う <input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方や時間の切り替えなど適切な過ごし方を自分で計画する <input type="checkbox"/> 自身の生活全般を自ら振り返り、改善し <input type="checkbox"/> 自分の生活を振り返り、改善しようとする <input type="checkbox"/> 食事のバランス、睡眠時間、運動量と健康な生活との関わりについて知る <input type="checkbox"/> 病気の知識、予防、対処法について知る
2	⑪	<input type="checkbox"/> いろいろなスポーツに興味関心を持ち取り組もうとする <input type="checkbox"/> 余暇活動として、自分に合った運動を選び活動できる <input type="checkbox"/> スポーツに取り組む <input type="checkbox"/> 他者と競いながら運動機能を向上させようとする
3	⑩	<input type="checkbox"/> 持続運動(なわとびランニング)についてペース配分を考え、調整することができる <input type="checkbox"/> 周囲の状況に応じ

プロフィール1 個人プロフィール 国社外

準備完了

MS Pゴシック 26 A A

クリップボード フォント 配置

BU7 ☐ 自分が困ったときに、自分がどのようなことで困っているのか

領域	ねらい	実態
1	⑫	<input type="checkbox"/> 食事のバランス、睡眠時間、運動量の確保を自主的に行う <input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方や時間の切り替えなど適切な過ごし方を自分で計画する <input type="checkbox"/> 自身の生活全般を自ら振り返り、改善し <input type="checkbox"/> 自分の生活を振り返り、改善しようとする <input type="checkbox"/> 食事のバランス、睡眠時間、運動量と健康な生活との関わりについて知る <input type="checkbox"/> 病気の知識、予防、対処法について知る
2	⑪	<input type="checkbox"/> いろいろなスポーツに興味関心を持ち取り組もうとする <input type="checkbox"/> 余暇活動として、自分に合った運動を選び活動できる <input type="checkbox"/> スポーツに取り組む <input type="checkbox"/> 他者と競いながら運動機能を向上させようとする
3	⑩	<input type="checkbox"/> 持続運動(なわとびランニング)についてペース配分を考え、調整することができる <input type="checkbox"/> 周囲の状況に応じ

例：AⅡの実態は⑩
ねらいは⑪のとき

16領域全部をチェックすると…完成！！

ポイント！！

児童・生徒の「実態」「ねらい」を決める時は、担任間でよく相談してください！！

・ステップ3 「個人プロフィール」作成

・「プロフィールシート」が完成したら…… 次は『個人プロフィール』

マトリクス授業決定シート_中学部版(サンプル軽) - Excel

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 アドイン

標準 改ページ ページ ユーザー設定 プレビュー レイアウト のビュー

ルーター 数式バー 枠線 見出し 表示

ズーム 100% 選択範囲に合わせて 拡大/縮小

新しいウィンドウ を開く 整列 ウィンドウ枠の 固定

分割 表示しない 再表示

並べて比較 同時にスクロール ウィンドウの位置を元に戻す

ウィンドウの 切り替え

マクロ

J18

マトリクス 授業プロフィール シート

西浦支援学校 中学部 2 年 4 組

名前 U

マトリクス(横軸)	A I	A II	B I	B II	C I	C II	C III	D I	D II	D III	E I	E II	E III	E IV	F I	F II	F III
ねらい(縦軸)	8	11	11	9	9	10	11	10	11	11	7	6	6	7	7	8	

教科名	メインコード	メインコード①	メインコード②	計	グループ
国・社・外	E I E II	7	6	13	Ⅲグループ
数・理	E I E II	7	6	13	Ⅲグループ
音楽	B II C III	9	11	20	Ⅳグループ
美術	B II C III	9	11	20	Ⅳグループ
体育	A II B II	11	9	20	Ⅳグループ
技術・家庭科	A I E III	8	6	14	Ⅲグループ
作業	E I F I	7	7	14	グループ編成なし

シート名: 個人プロフィール

ステップ2まで終わると…
数値が自動的に
記入されている！！

①学年・組を入力

②名前を入力

ここまでの目安所要時間
1人 約20～30分

ステップ4 各教科のグループとマトリクス分布を確認

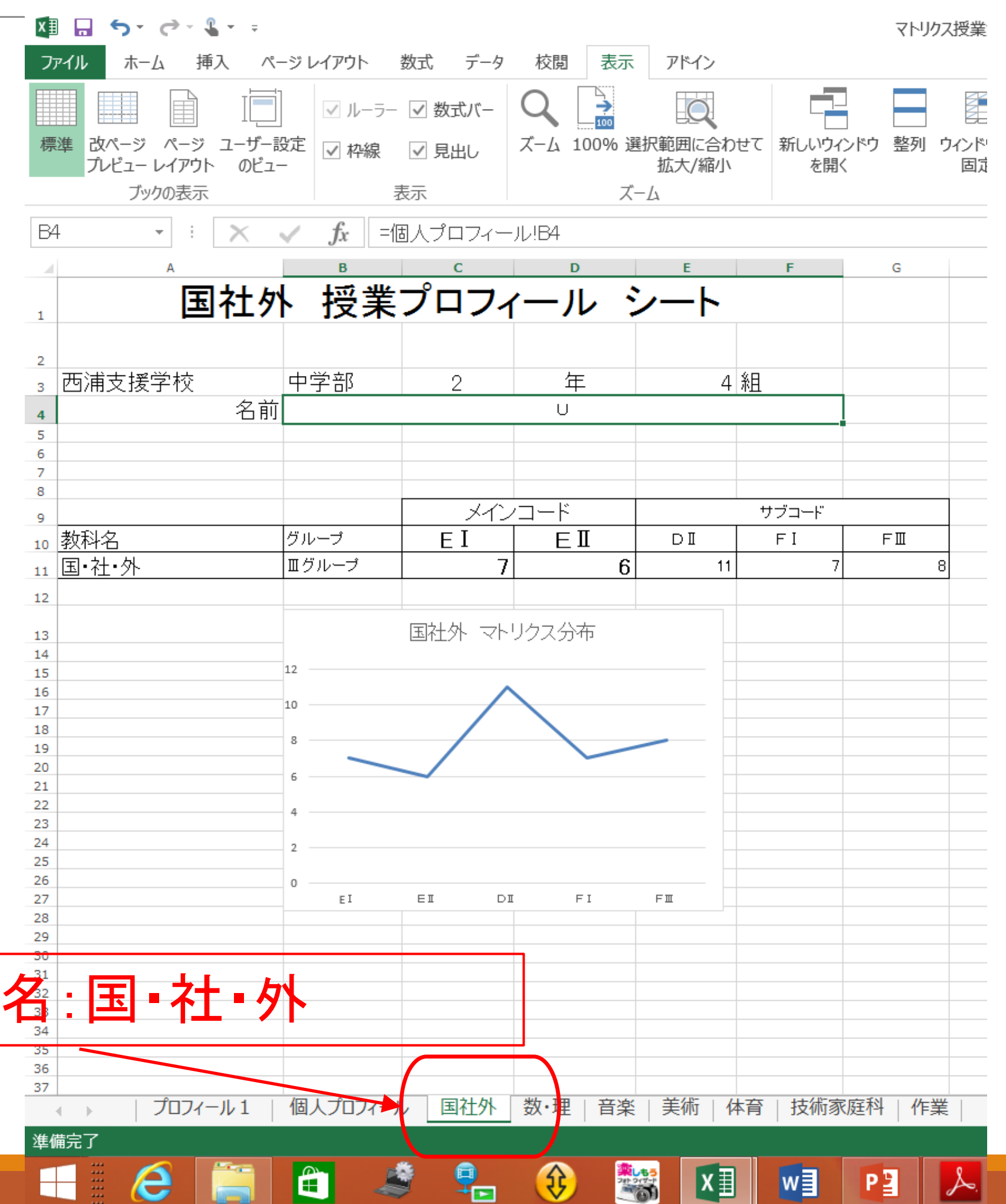
個人プロフィールが完成したら…
各教科の**学習グループ**と
それぞれの教科の力を見てみよう！！

各教科の
学習グループ

シート名: 個人プロフィール

シート切替

シート名: 国・社・外



・ステップ5 学習グループ仮決定

○全員の個人プロフィールが完成したら・・・

①教科担当でグループのメンバーを確認

②人数や児童生徒間の関係、授業内容を考慮してグループを編成→仮決定

4	名前	U				
5						
6						
7						
8						
9			メインコード		サブコード	
10	教科名	グループ	E I	E II	D II	F I
11	国・社・外	Ⅲグループ	7	6	11	7
12						
13		国社外 マトリクス分布				
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						

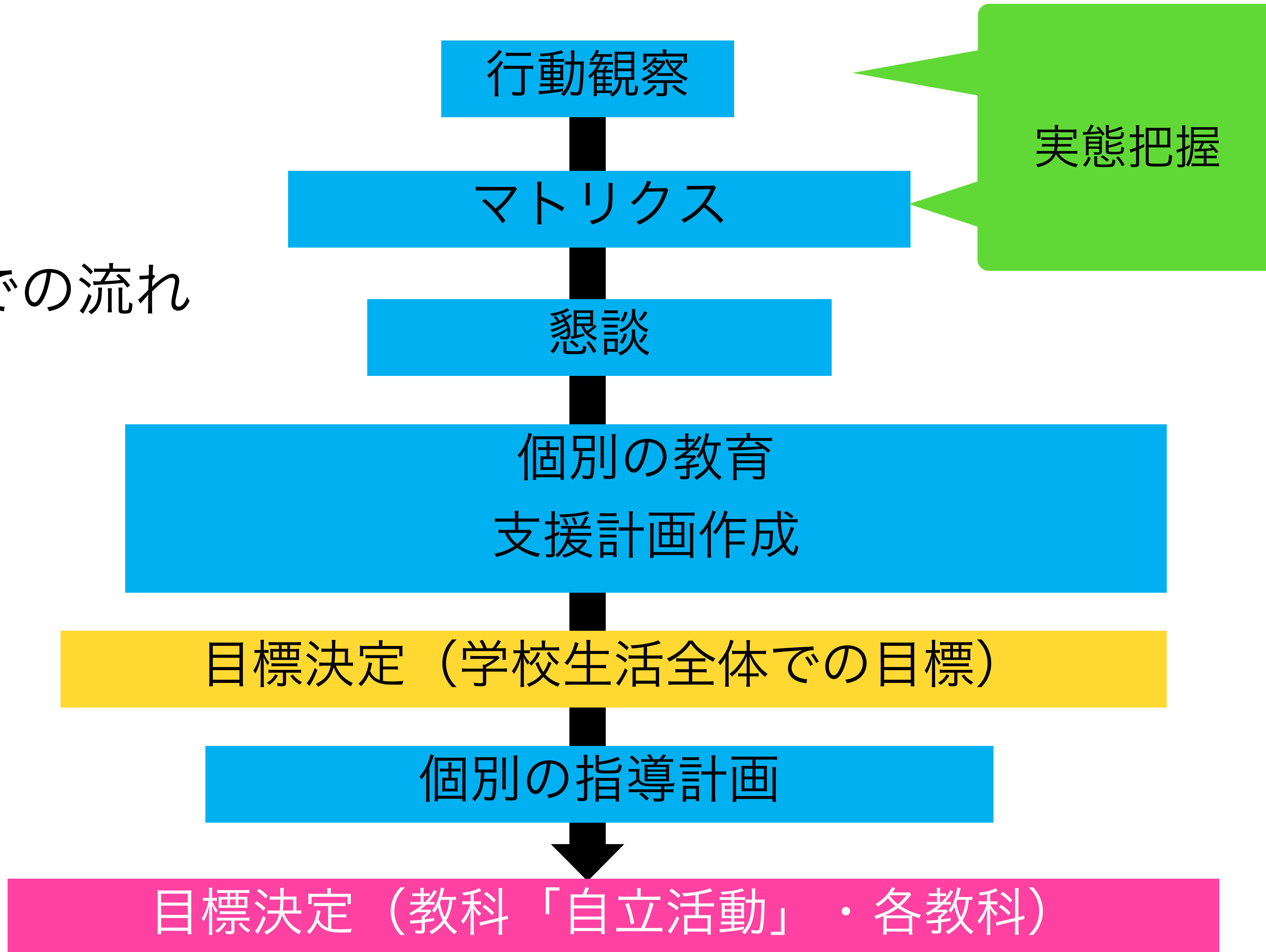
グループの変更は
各領域の上り下がりをチェック
極端に高いものがある→軽度グループ検討
極端に低いものがある→重度グループ検討

ポイント！！

児童・生徒の学習グループを決める時は、
教科担当でよく相談してください！！

自立活動

目標決定までの流れ



個別の教育支援計画

自動保存

オフ

...

様式A 個別の教育支援計画

ホーム挿入描画ページレイアウト数式データ校閲表示操作アシスト

ペースト

BIZ UDゴシック11

B I U

標準

条件付き書式

データの入力規則

セルの書式設定

M143

大阪府立西浦支援学校 <様式A-4-1>

個別の教育支援計画 目標設定		
児童生徒名	0	
学年・組	0 年 0 組	
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につきたい力	
	教育実践マトリクス	
	該当する項目	
年間目標		
対応するマトリクスの内容		
自立活動の観点を含む配慮	支援の子立て及び配慮事項	

マトリクスを開き、該当する文章を選択し、コピーしてください。
※セルごとコピーはできません。

前期目標	
前期の様子と課題	
後期目標	
後期の様子と課題	
次年度年間目標	
対応するマトリクスの内容	

個別の教育支援計画

本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後 につけたい力	・自分が得意なことは何か知る。 ・将来の仕事について得意な分野は何かあるのか知ることができる。	
	教育実践 マトリクス 該当する項目	CⅢ：個性の伸長	
		FⅠ：働くことの意味を知る	
年間目標		・筆談等を使用したコミュニケーション面の向上。 ・誰にでも伝わるような文字、文章を意識する。	
対応する マトリクスの内容	EⅣ ⑧	様々な場面の中で自分の意思を表現できる 自分の感情を色々な方法で表現できる	
	EⅠ ⑧	簡単な文章を読み書きできる 自分の気持ちをことばやしぐさで表現できる	
自立活動の観点を含む配慮事項	支援の手立て 及び 配慮事項	支援の手立て ・予定表を示したり教員から連絡を伝えたりし、持ち物や活動場所をわかりやすく提示する。 ・選択肢を提示したり「はい」「いいえ」で答えられる質問をしたりする。 ・宿題等を通じて文字の練習を行い、誰にでもわかりやすい文字を書けるように支援する。使用するノートはマス目のあるものにし、見やすさを意識する。	
		配慮事項 ・言葉で意思表示するのが難しい場合は、筆談やタブレットを使用する。	

個別の教育支援計画

本人、保護者の願い

どんな未来をめざすか？

望む未来から逆算する

そのために必要な支援は？

3年後→1年後→半年後
目標

大阪府立西浦支援学校		〈様式A-4-1〉		
個別の教育支援計画 目標設定				
児童生徒名	0		担任	0
学部学年・組	0 年 0 組			
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につきたい力			
	教育実践マトリクス			
	該当する項目			
年間目標				
対応するマトリクスの内容				
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て 配慮事項		

大阪府立西浦支援学校 〈様式A-4-2〉

個別の教育支援計画 目標設定

児童生徒名		0		担任	0
学部学年・組		0	0	年	0
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	適切なコミュニケーションを取ることができる			
	教育実践マトリクス				
	該当する項目				
年間目標		自分の経験したことを伝えることができる			
対応するマトリクスの内容		3年後→1年後			
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	<p>目標</p> <p>タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる</p> <p>発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。</p>			
		<p>支援の手立て</p> <p>・</p> <p>配慮事項</p> <p>・</p>			

前期目標	担任に授業で学習したことを伝えることができる
前期の様子と課題	
後期目標	帰りの会で学習したことを伝えることができる
後期の様子と課題	
次年度年間目標	
対応するマトリクスの内容	

個別の指導計画

支援計画の内容 各教科の指導計画に 連携させる

区番号 21104		学部 講座名 グループ 段階 担当者		中学部 国語 4 小学部3段階 樋井 一宏	8 読込ボタン 保存ボタン		9	
					参考（教育支援計画）		指導計画のみ	
生徒 番号	学部	年	組	児童生徒名	年間目標	支援の手立て	シラパスのある教科 重点目標 ※プルダウン選択	
	中学部	2	●		・困ったときに、動作や言葉で伝えられるようになる。 ・授業の準備や移動を自分から行えるようになる。	支援の手立て ・周りへの支援が必要な時には、どのような言い方をすればよいかを伝える。返答の場面では、選択肢を提示し自分で選ぶことから、少しずつ自分で考えた意見を伝えられるように移行する。促しの言葉かけを減らし、できるだけ見守りの中で、自分で考える時間を設ける。 ・時間割を元に活動内容を事前に予告し、見通しが持てるようにする。 配慮事項 ・両上肢・体幹機能障害のため、ウォー	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。 イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。	
	中学部	2	●		・日常の基本動作（手を洗う、歯をみがく、衣服を正しく着るなど）の重要性を理解し、正確に行う。	・ある程度は本人の自主性にまかせ、しっかり見守る。服装の乱れが顕著なときや、手洗いや歯磨きが必要なのにあきらかに失念しているときには適宜言葉かけをして、好ましい生活習慣の大切さがわかるようにする。	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。 イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。	
						支援の手立て ・クールダウンできる時間を確保し、教員	ア	

授業

＊ 2つの柱

教科の力

- ・ 各教科の学習内容 ← **教科を教える**
「国語」
「数学」
「社会」
「音楽」
など

教科で教える →

自立活動

- ・ 得意を活かし
苦手を補いよりよ
く生きる力
「指先の器用さ」
「コミュニケーション」
「精神的な安定」
など

授業でつけて欲しい力

教科の勉強＋自立活動

数学の授業

教科の勉強
「数の学習」

自立活動
「おはじきを
うつしかえる」

教科を教える

教科で教える

具体例

「10」の大きさ

教科の力

- ・ 10 という数の理解

自立活動

- ・ 指先の器用さ

(目でみて、ねらって指で
つまむ)

ビーズを卵パックにつまんで
うつす

* ビーズの大きさを変える
お箸でつまむ
目でみてわかる

実践例（日々の生活の中で行う指導）

- 更衣（服をたたむ 服装を整える）



- ランニング（運動習慣 体調管理 周回数を数える）



- キャスターボード（体の使い方 運動 ルール）

- ストレッチ（体の使い方 模倣 健康 過緊張）



- 筋トレ（体の使い方 体幹の強化 模倣）



実践例（日々の生活の中で行う指導）

- そうじ（清潔 道具の使い方 友達との協力 体幹）
＊何を使うか、なぜ使うか



- コミュニケーション（筆談、ジェスチャー、絵カード）
＊方法、相手、内容、振る舞いを広げる



- STなど

西浦支援学校 地域支援チャンネル

- ストレッチ



- 筋トレ



- ST



実践例（時間における指導）

苦手なことを知る

得意なことを知る

どうすれば、できるか？

何があればできるか？

自分で選べるようになったら

嬉しい

特別支援教育における
読み・書き・話す・聞くに
関する指導

特別支援教育における
読み・書き・話す・聞くに
関する指導

読むことに課題のある生徒

・フォントの見やすさ さ さ さ

・わかち書き 行間による見やすさ



・読むところ以外の情報を遮断することで見やすくなる

中学部2年生 国社外 プリント

都道府県 大阪

2年

名前:

1、きょう 勉強したのは、どこ?

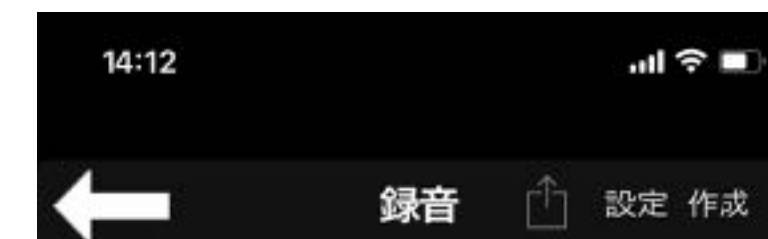
2、何が 日本一 多い?

3、何を 作ってる?

4、調べて みよう!!

例えばICT機器を活用して

- ・読み上げアプリ、音声教科書による代替



かぶとむし

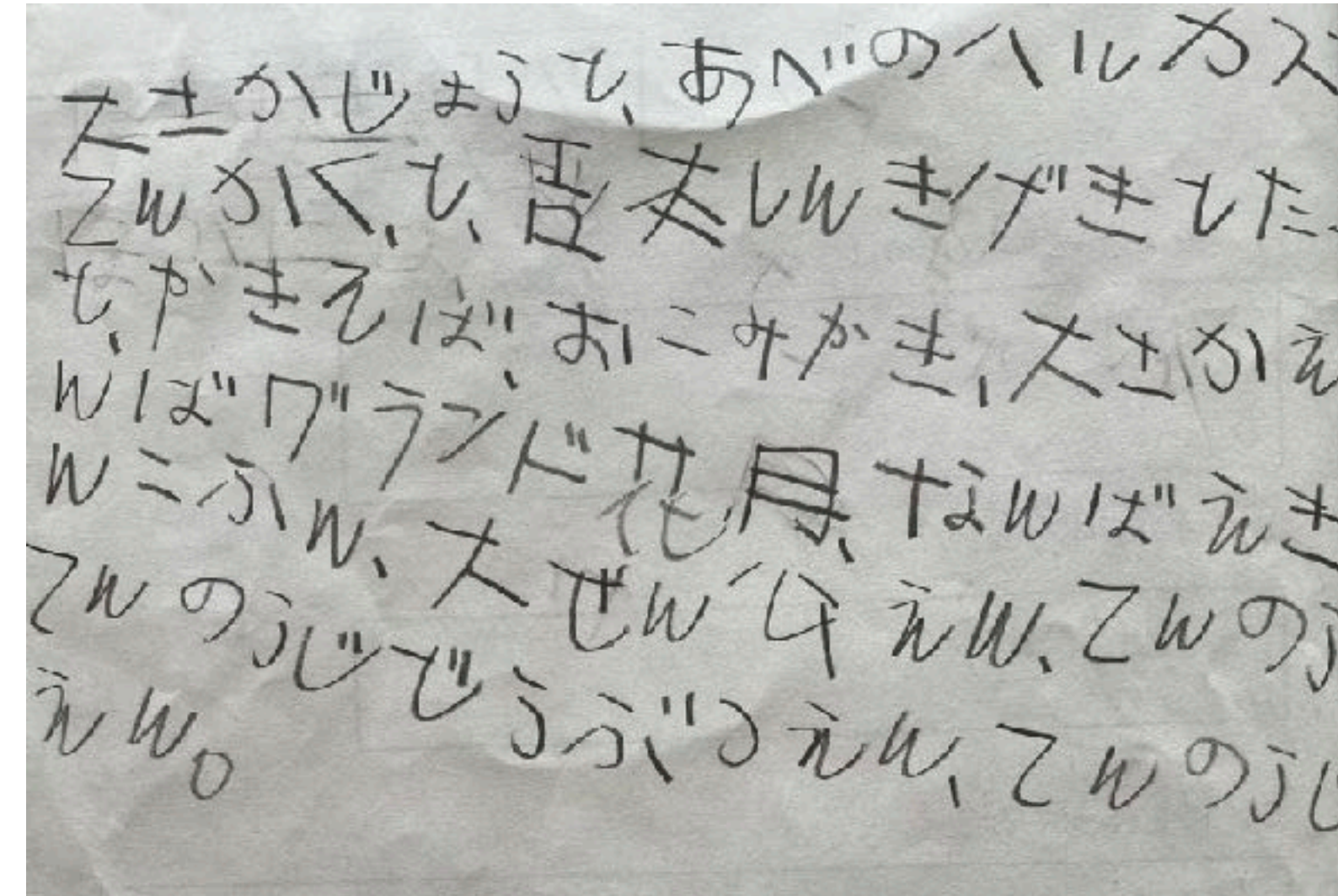
かぶとむしは　ちからもち
です。

おすには りっぱな つの
が あります。



書くことに課題のある生徒

- 文字がまっすぐに並ばない



- 字形が捉えにくい

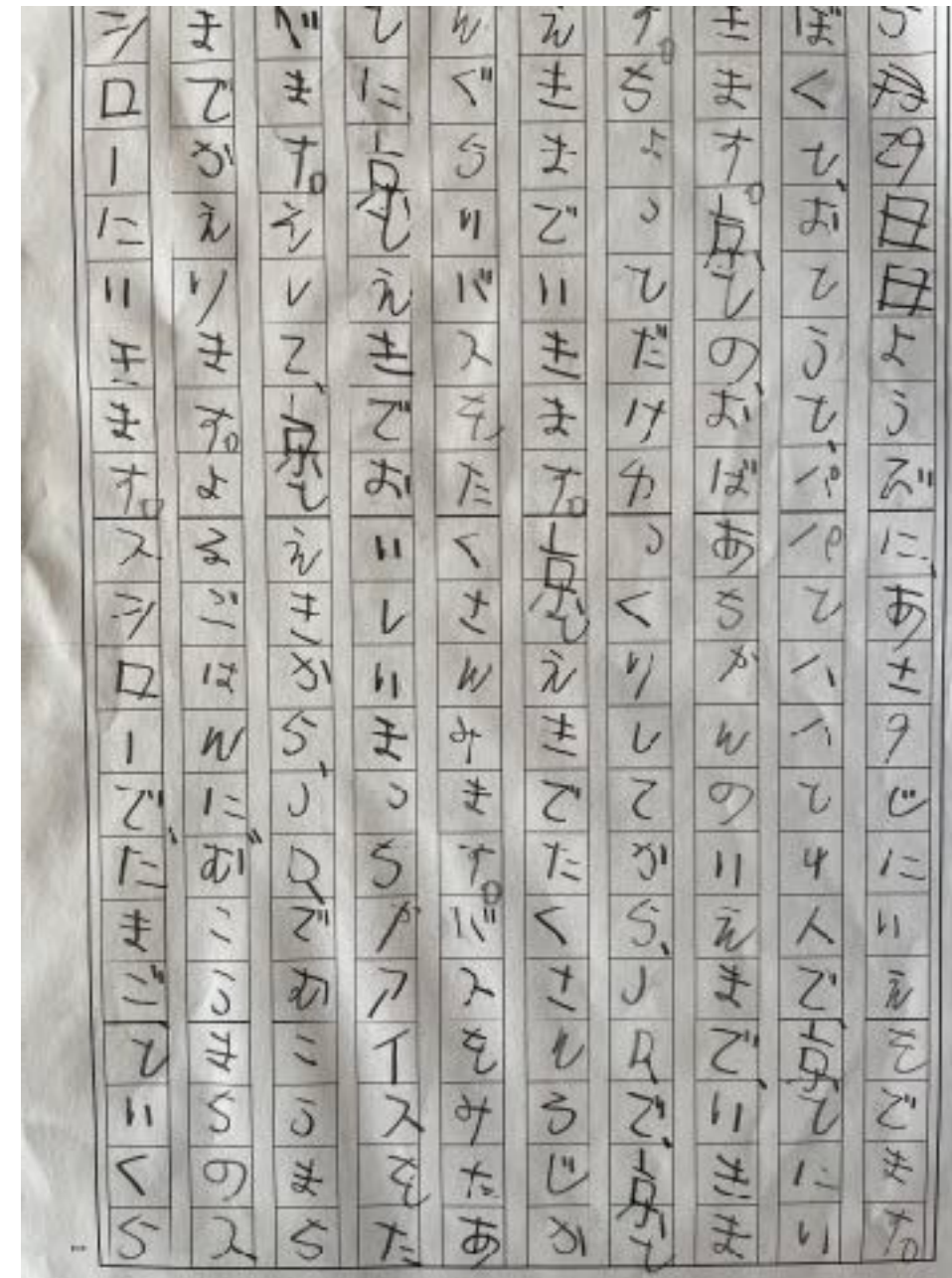
- 漢字で書きたいけれど・・・

自立活動の例

- 目と手の協応のトレーニング



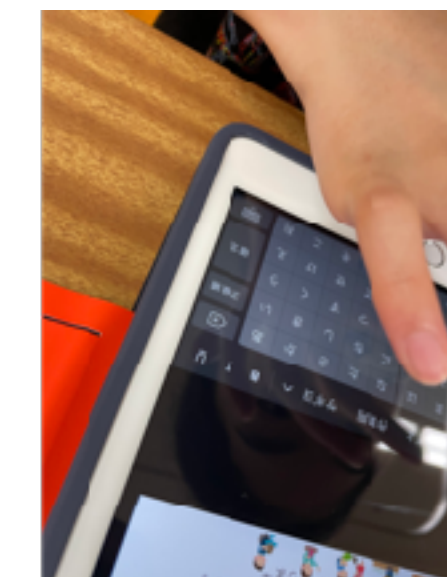
- 縦書きか横書きか



- マスの大きさ、ガイドの使用

- それでもダメなら、タブレットによる入力

50音、ローマ字、音声、フリック

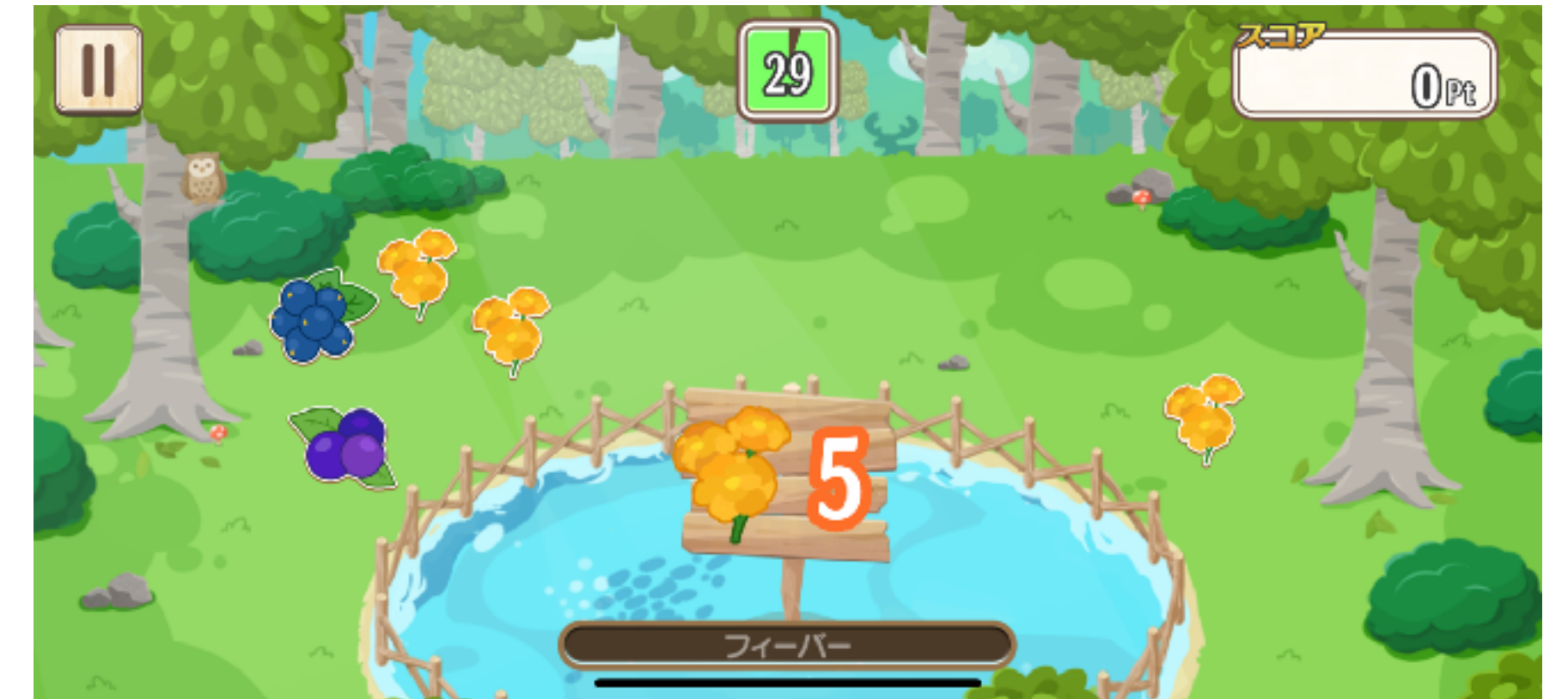


50音入力

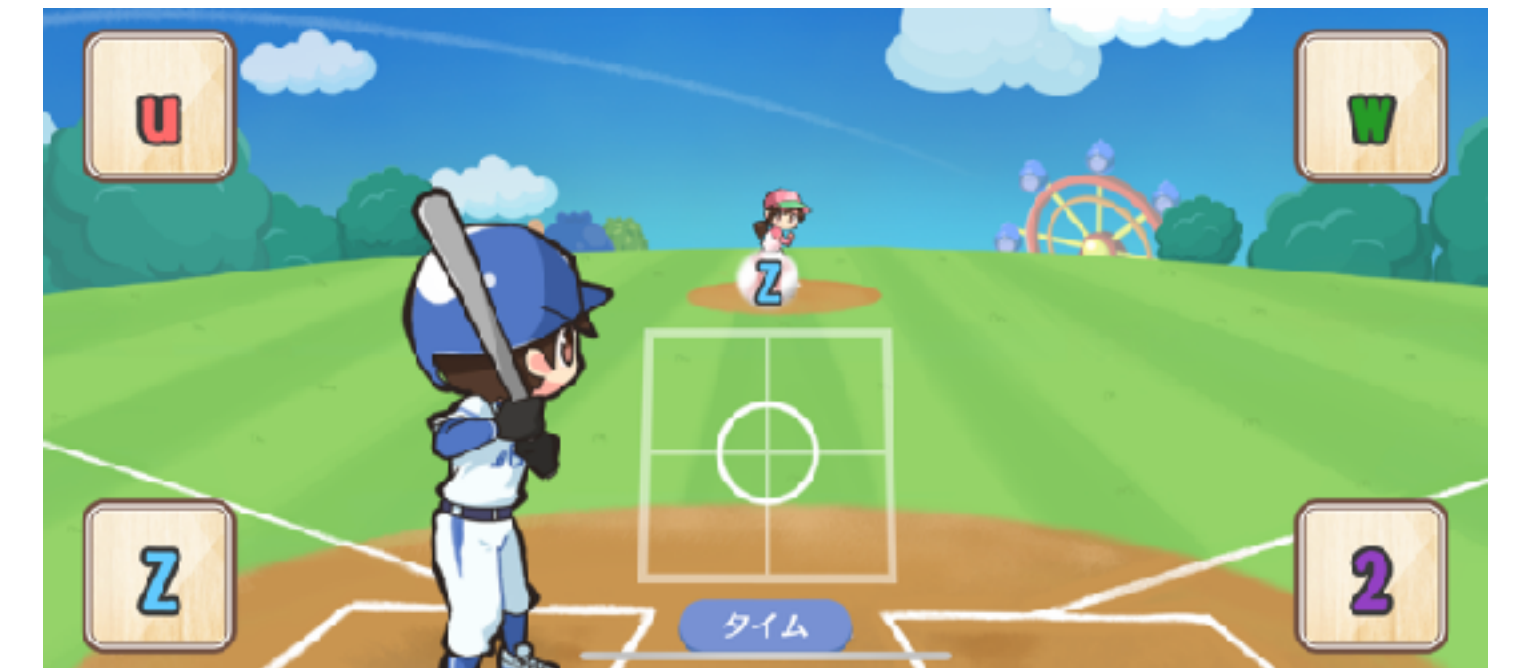


キーボードで
ローマ字入力

例えばビジョントレーニングも



- 集中力を高めるために、授業の最初に帯で
- 友だちや先生と競争したり
- 自分の記録に挑戦したり
- 応援するのも自立活動

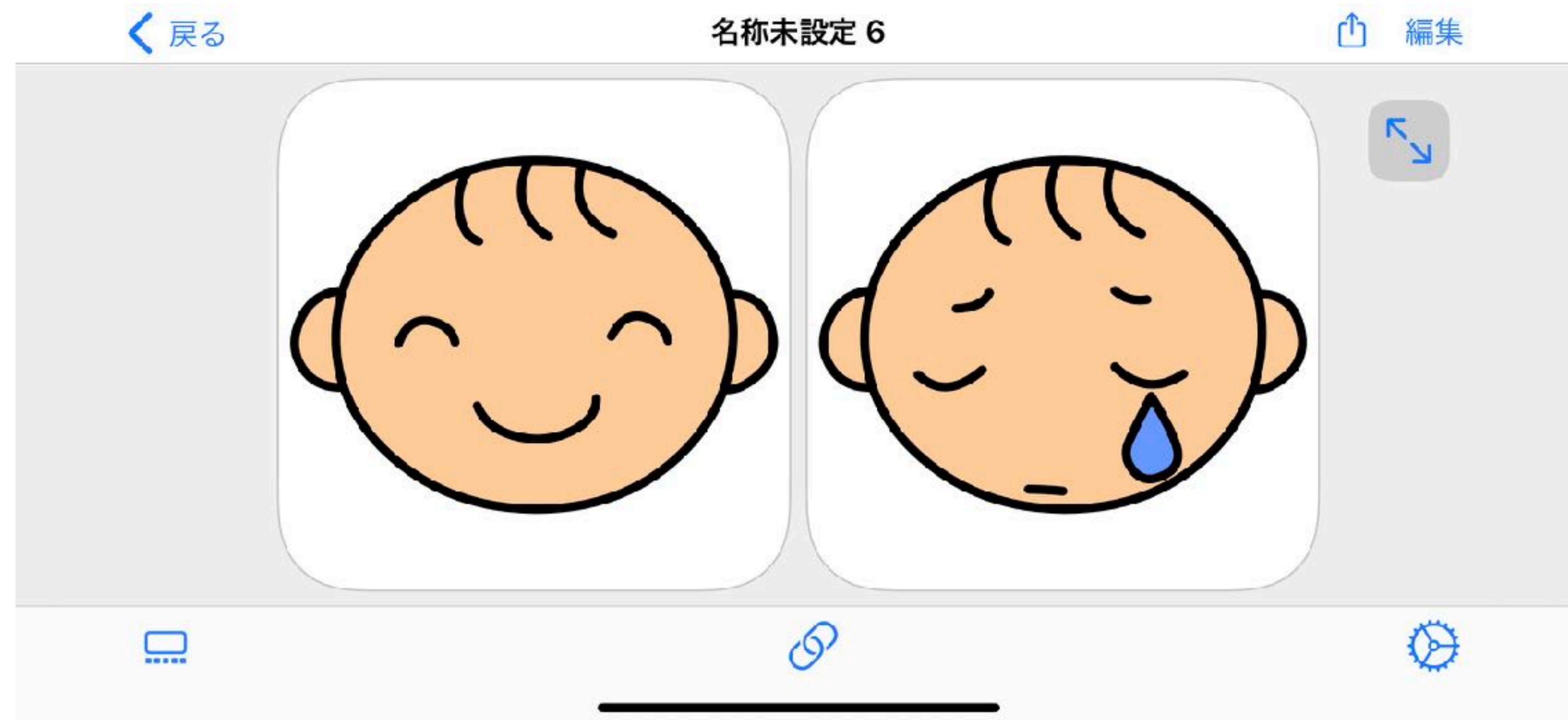


話すことに課題のある生徒

- 認知的に言語の理解が難しい
- 言語は獲得しているが、身体機能的に発音（発声）が難しい
- 言語も獲得しており、発音にも困難さはないが、精神的に発声が難しい（緘黙・場面緘黙）

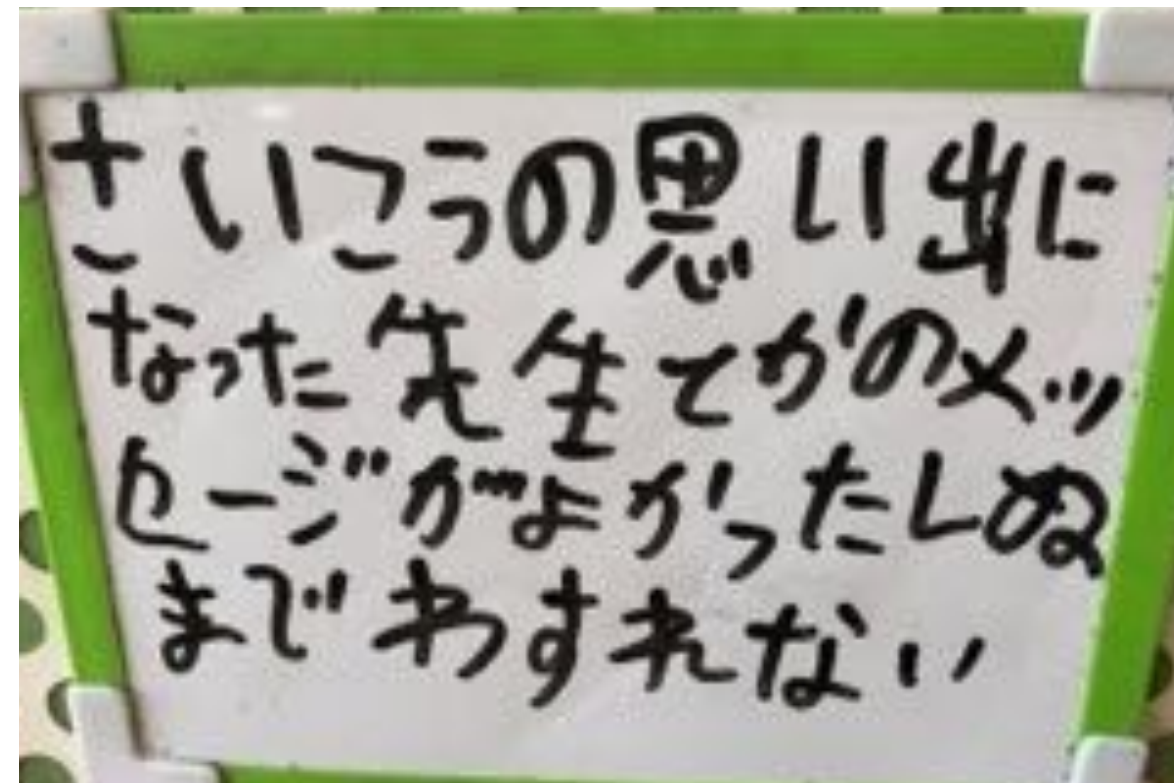
認知的に言語の理解が難しい

- 絵カード、ジェスチャーなどで代替



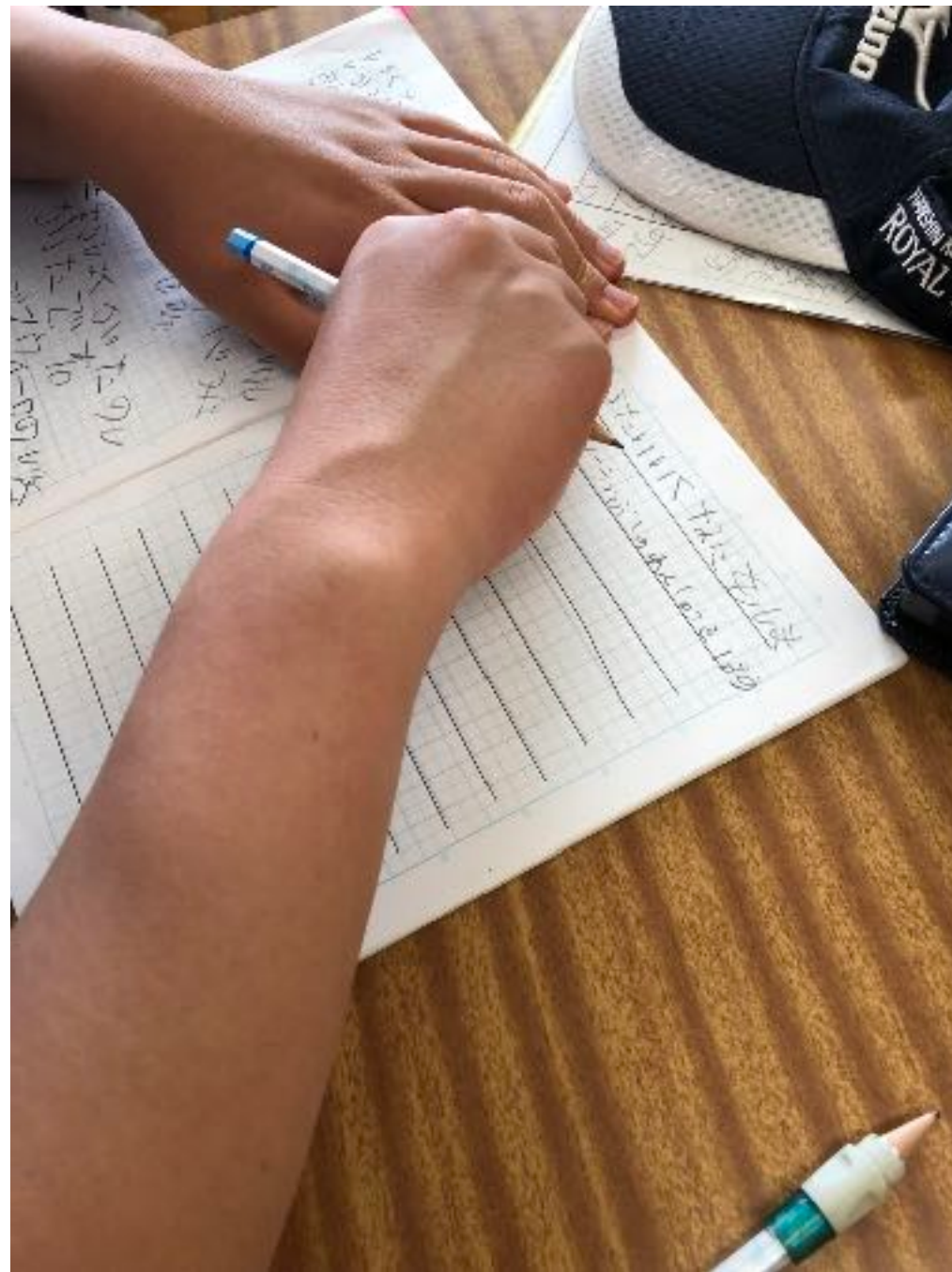
身体機能的に難しい

- ST（言語聴覚士）によるトレーニング
- 筆談、VOCA・タブレット型端末による代替



精神的に難しい

- 絵カード、筆談、VOCA・タブレット型端末による代替



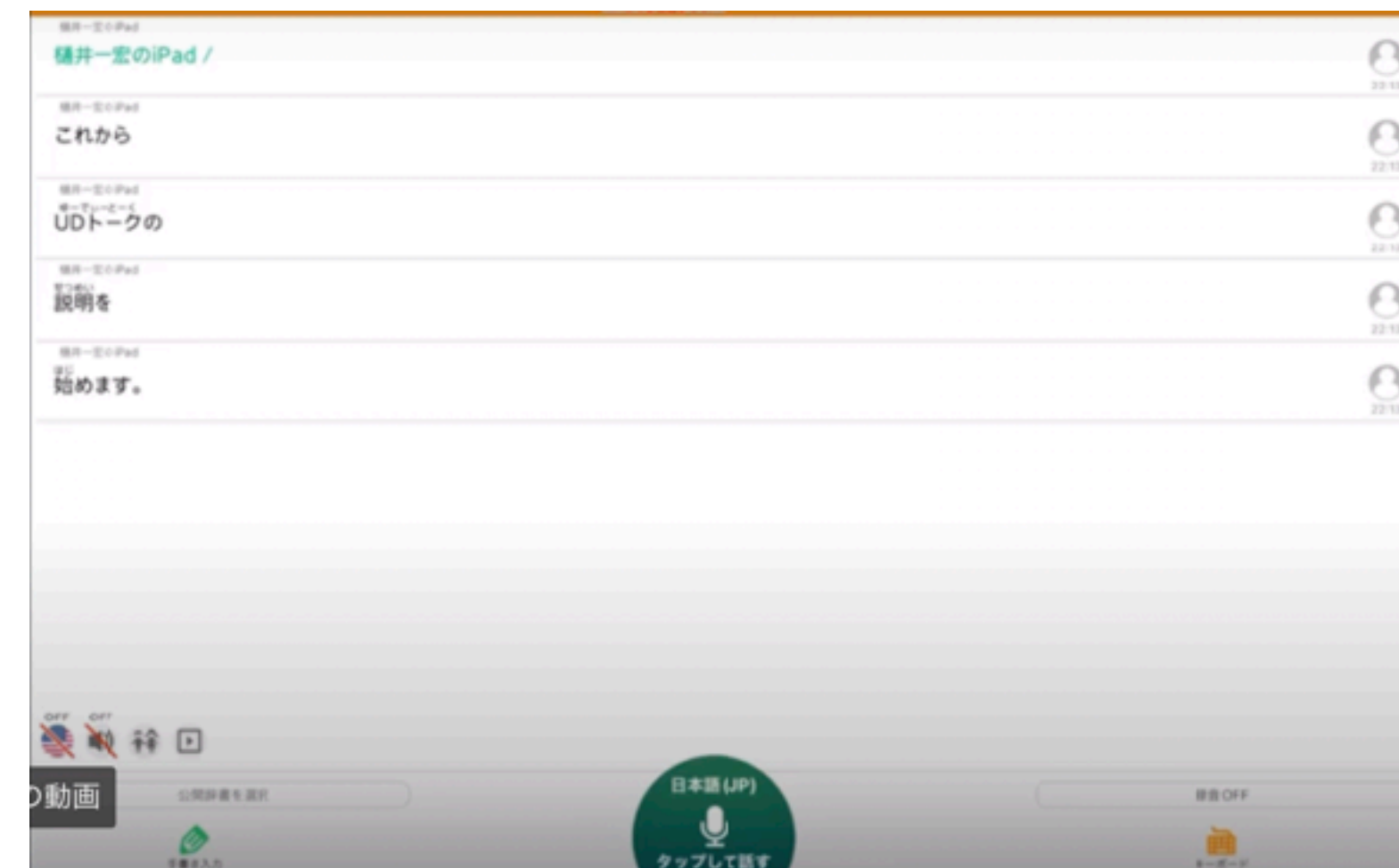
聞くことに課題のある生徒

- 視覚情報の方が理解しやすい
- 複数の音の中から聞くべき音を選択することが難しい
- 指示が誰に向けたものを理解するのが難しい

聞くことに課題のある生徒

- 板書、UDトーク（文字起こしアプリ）などによる情報保障

- 環境を整える



- 「○○さん」など注意を促してから指示

劇行事における背景作り

- 劇行事の台本を読み内容理解
- 美術で背景作り
- 自立活動でプレゼンテーションアプリKeynoteを使って動く背景作り
- 読み取った場面を背景としてどう表現するか
- 友だちと相談して、協働して、学び合う



俳写

- 文字＋写真による表現



秋の葉が冬に負けぬと言っている

- 決められた文字数の中で語彙を選択する（言い換え）

社会との関わり

- 「社会」って難しい
- ニュース 「DropNews」



- 自分で情報を得る習慣
きっかけが必要。新聞？TV？インターネット？
触れたことがあるって大切。

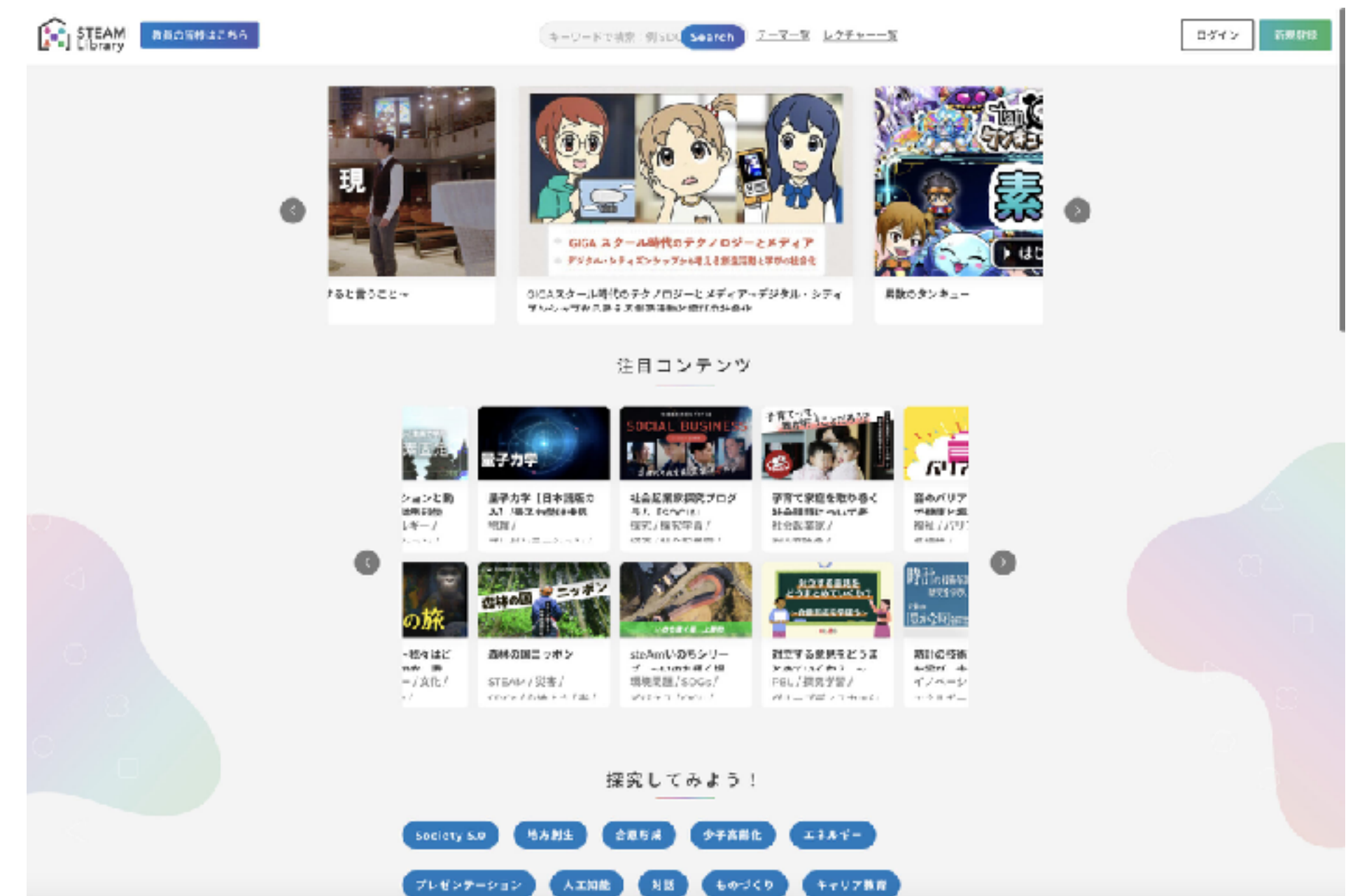


デジタルシティズンシップ

- ICT機器やインターネットに全く触れない生活は難しい。
- 「禁止」ではなく、より善く使う。
- 大人が使うように使えること
- 隠さず「相談できること」

経済産業省が仕掛けるSTEAM教育の教材サイト。

「STEAMライブラリー」



まとめ

自立活動

学校生活全般にわたって取り組むべきもの

実態把握に基づいて

苦手なことも

〇〇があれば

□□の練習をしたから

△△の場面なら

なりふり構わず幸せになって欲しい

ありがとうございました

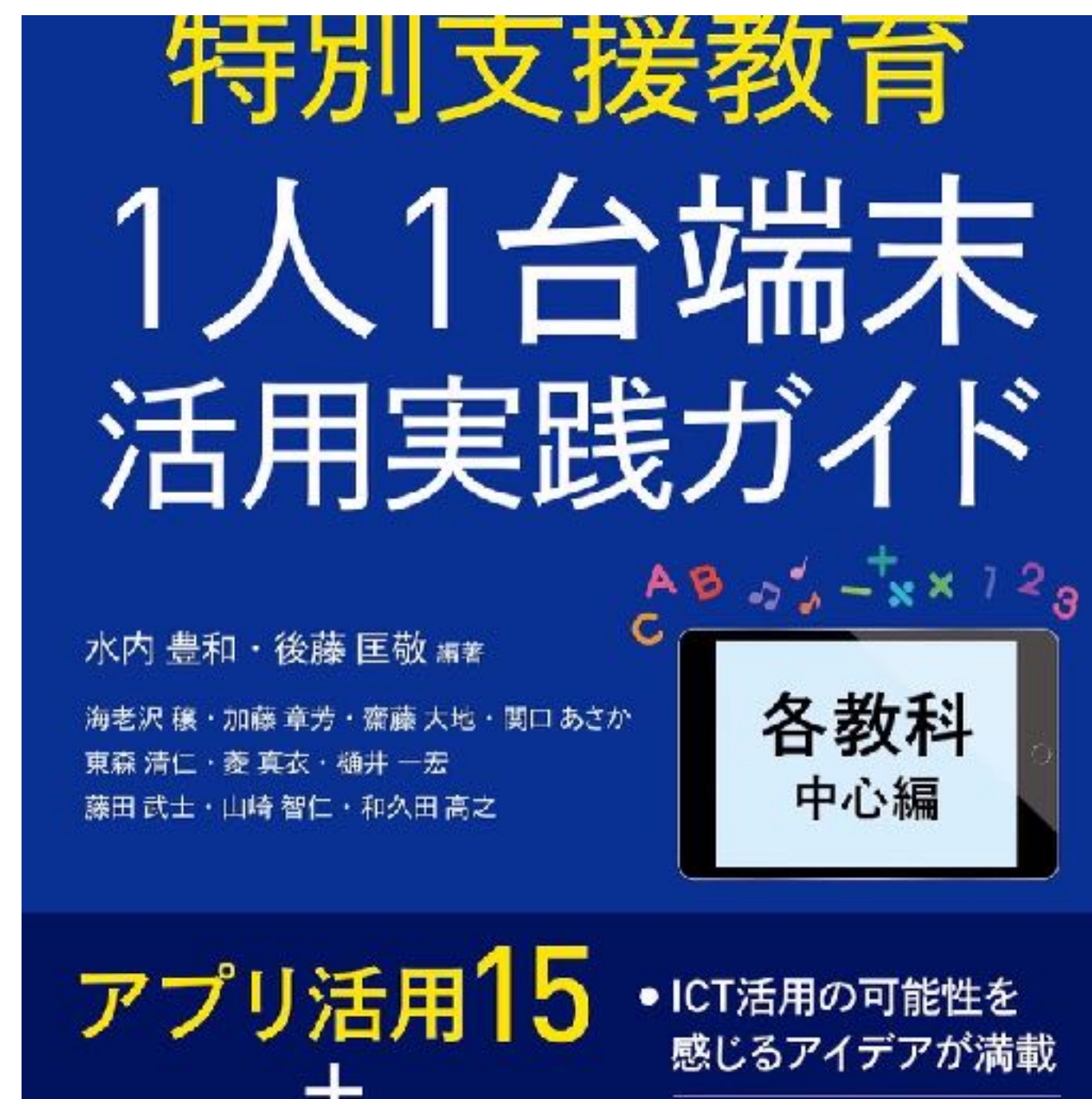
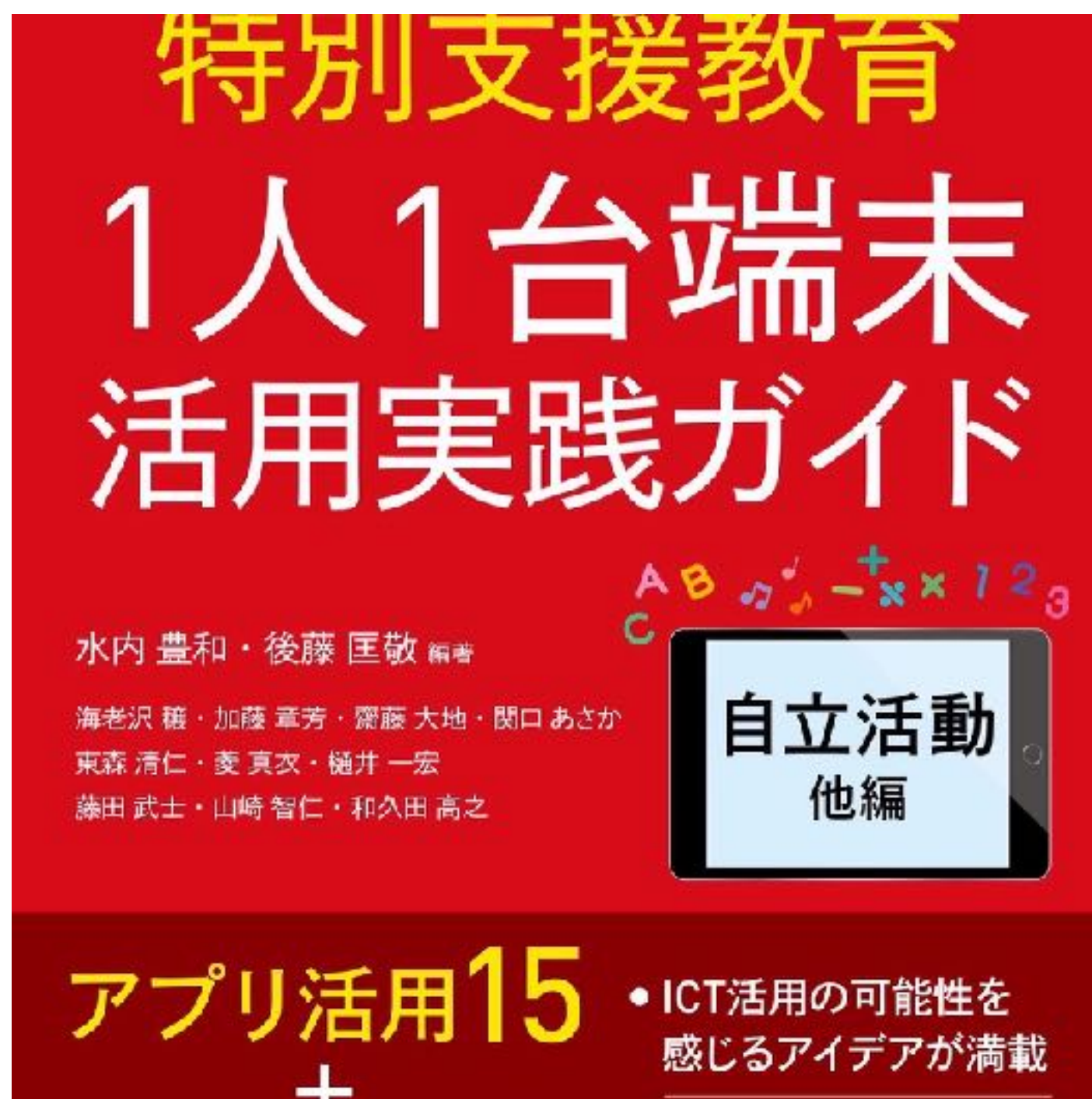


特別支援教育が特別じゃなくなる日を

ICT機器を活用するなら

明治図書

「特別支援教育1人1台端末
活用実践ガイド」





おまけ

HP『ダッシュニンの特別支援教材室』

特別支援教育に関する教材や、研修資料、
役立つアプリなどを紹介

地域支援室 公式YouTube

動画を見ながら一緒にできるストレッチやFBM、ST動画や
校内研修を配信



YouTube ダッシュニン チャンネル

「朝の会」
「特別支援教育×○○」をテーマに
ラジオ形式で配信



よければ使ってね・・・#特別支援教育が特別じゃなくなる日を